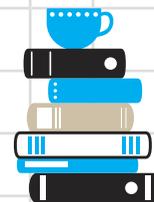


令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

こんぱす仏生山



○事業所名	こんぱす仏生山		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～ 令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～ 令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月8日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携体制を構築しております。各担当者が会議や勉強会を通じて事例検討等をおこない、多様な視点からの意見を取り入れ、支援計画や日々の療育に反映するよう努めております。	各担当ごとに事業部内でグループを形成し、主体的に会議や勉強会をおこなっております。また、不明点については指定権者へ確認をおこない、法令に基づいた適切な事業所運営に努めております。	児童が楽しみながら通所でき、成長を実感できるとともに、安心して利用できる事業所運営を継続し、法令遵守のもと質の高い支援の提供に努めてまいります。
2	事業所がワンフロアで構成されているため、集団での運動療育が実施しやすく、様々な年齢の児童や職員と関わりができる環境となっております。	運動療育では理学療法士を中心に、小集団での活動を取り入れております。また、余暇時間においても同一フロアで過ごすことで見守り体制を強化し、児童同士の関わりが深まるよう努めております。	今後も多様な運動療育プログラムを実施し、集団活動を通して社会性や協調性を育むことができる環境づくりに努めてまいります。
3	季節ごとの制作活動や行事を取り入れ、児童が楽しみながら通所できるよう工夫をおこなっております。	児童一人ひとりの課題に応じた制作活動を実施し、日本の四季を感じる機会を設けるとともに、手指の巧緻性の向上につながるよう努めております。	今後も継続して多様な制作活動や行事を取り入れ、楽しみながら成長につながる支援をおこなってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育室が一室であるため、落ち着いて過ごす必要がある児童やクールダウンを必要とする児童のための空間確保が難しい状況があります。	建物の構造上の制約に加え、室内を区切るためのパーテーションや衝立等の設備が十分に整っていないことが要因となっております。	パーテーションや衝立の設置等により空間を適切に区分し、児童が安心して落ち着いて過ごせる環境整備に努めてまいります。
2	中学生・高校生の利用がないため、就労に向けた支援に関する療育内容や実績が十分ではない状況があります。	開所からの期間が短く、対象年齢層の利用実績が少ないことにより、専門的な療育資源や経験の蓄積が十分でないことが要因となっております。	今後の受け入れに備え、COMPASS内の関連事業所と連携し、就労に向けた支援内容の共有や検討をおこない、対応できる体制づくりに努めてまいります。
	地域との交流機会や事業所外での活動が十分に実施できていない状況があります。	感染症対策や安全面への配慮により、地域との交流や外部活動の実施が制限されていることが要因となっております。	児童の安全面に十分配慮しながら、地域との関わりや外部活動の実施について検討し、社会性の向上につながる機会を提供できるよう努めてまいります。



公表日：令和8年3月17日